

授業科目名	人間の理解 I	実施時期	1 学年 前期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位 30 時間
担当教員	奥野 勝太（介護福祉士、社会福祉士）		
授業概要・目的	多様性を認め合う社会になる中、人権や尊厳について課題が浮かび上がっている。人権の歴史を踏まえつつ、人として生まれ持った人権、尊厳を学習する。また、介護福祉分野においては、尊厳、自立支援が特に重要視されている。介護実践の視点から尊厳の保持と自立支援について学習する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の生まれ持った人権、尊厳について理解する。 ・介護実践における尊厳について理解する。 ・介護実践における自立・自律支援について理解する。 		
講 義 内 容			
前 期			
1	人間の尊厳の意義		
2	人権思想の歴史①		
3	人権思想の歴史②		
4	日本の人権や尊厳に関する法律		
5	社会福祉領域における人権、福祉理念①		
6	社会福祉領域における人権、福祉理念②		
7	介護福祉からみる介護を必要とする人の権利		
8	介護福祉における権利侵害とその背景		
9	介護職による権利擁護の視点とその方法		
10	尊厳をまもる介護の実践		
11	自立の概念と社会動向		
12	介護における自立・自律支援		
13	介護における自立支援の実践①		
14	介護における自立支援の実践②		
15	介護における自立支援の実践③		
授業形態	講義、演習		
評価方法	筆記試験、課題レポート		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 第1巻 人間の理解』／中央法規出版		
参考図書			

授業科目名	人間の理解Ⅱ	実施時期	1 学年 後期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位 30 時間
担当教員	根塚 明子（臨床心理士、公認心理師）		
授業概要・目的	人間関係の成り立ちを様々な観点から理解し、それにとまなう人間の心理を学ぶ。 コミュニケーションについて概観し、対人援助における基本的姿勢を学ぶ。		
到達目標	対人援助関係形成の基礎となる人間関係やコミュニケーションの知識を身につけ、介護福祉職としての基本的姿勢を養う。		
講 義 内 容			
後 期			
1	人間らしさのはじまり		
2	自分と他者の理解		
3	発達心理学からみた人間関係		
4	社会心理学からみた人間関係①		
5	社会心理学からみた人間関係②		
6	人間関係とストレス		
7	ストレス対処法		
8	コミュニケーションの概念と基本構造		
9	コミュニケーション手段（言語的・非言語的）		
10	対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション		
11	対人援助における基本姿勢		
12	バイステックの7原則		
13	組織におけるコミュニケーション		
14	ブレインストーミング①		
15	ブレインストーミング②		
授業形態	講義、演習		
評価方法	筆記試験、レポート、授業態度		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 第1巻 人間の理解』／中央法規出版		
参考図書			

授業科目名	チームマネジメント論	実施時期	2 学年 後期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位 30 時間
担当教員	奥野 勝太 (介護福祉士、社会福祉士、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程修了)		
授業概要・目的	介護福祉士には、チームにおいて中核的な役割が求められている。この科目では、ケアの展開、人材育成、組織管理など幅広い観点から、チームマネジメントを学習する。また、キャリアデザインを描く意義を理解し、自己の将来の姿を描きます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実践のマネジメントを理解する。 ・人材育成、能力開発、組織管理に関するマネジメントを理解する。 ・キャリアデザインの意義を理解し、自己の将来を自律的に描くことができる。 		
講 義 内 容			
後 期			
1	介護現場に求められるチームマネジメントの意義		
2	介護現場で求められるチームマネジメント		
3	介護実践におけるチームマネジメントの取り組み①		
4	介護実践におけるチームマネジメントの取り組み②		
5	ケアを展開するためのチームマネジメント		
6	チームケアを展開するためのマネジメント① (ケースメソッド)		
7	チームケアを展開するためのマネジメント② (ケースメソッド)		
8	人材育成と自己研鑽のためのチームマネジメント		
9	介護福祉職のキャリアと求められる実践力		
10	介護福祉職としてのキャリアデザイン (ライフキャリアとワークキャリア)		
11	介護福祉職としてのキャリアデザインの作成		
12	自己研鑽に必要な姿勢と方法		
13	組織の目標達成のためのチームマネジメント (組織の構造)		
14	組織の機能と役割		
15	チームビルディングと組織管理		
授業形態	講義、演習		
評価方法	筆記試験、課題レポート		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 第1巻 人間の理解』/中央法規出版		
参考図書	『改訂・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程テキスト初任者編/全国社会福祉協議会		

授業科目名	社会の理解 I	実施時期	1 学年 前期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位 30 時間
担当教員	相山 馨（大学教授、介護福祉士、社会福祉士）		
授業概要・目的	<p>個や集団、社会の単位で人間を理解する視点を養い、生活と社会の関係性を体系的に捉える。対象者の生活の場としての地域という観点から、地域共生社会や地域包括ケアの基礎的な知識を習得する。日本の社会保障の基本的な知識を習得する。日本の社会保障の基本的な考え方、しくみについて理解する。</p>		
到達目標	<p>①個人・家族・地域・社会のしくみと、地域における生活の構造について学び、生活と社会のかかわりや自助・互助・共助・公助の展開について理解する。 ②地域共生社会や地域包括ケアシステムの基本的な考え方としくみ、その実現のため制度・施策を理解する。</p>		
講 義 内 容			
前 期			
1	生活を幅広くとらえる		
2	生活の基本機能		
3	ライフスタイルの変化		
4	家族の機能と役割		
5	社会・組織の機能と役割		
6	地域・地域社会		
7	地域社会における生活支援		
8	地域福祉の発展		
9	地域共生社会		
10	地域包括ケア		
11	社会保障の基本的な考え方		
12	日本の社会保障制度の発達		
13	日本の社会保障制度のしくみ		
14	現代社会と社会保障制度		
15	人口減少と持続可能な社会保障のあり方		
授業形態	講義		
評価方法	定期試験、レポート、授業態度を総合的に評価		
テキスト	『最新 介護福祉士養成講座 第2巻 社会の理解』／中央法規出版		
参考図書			

授業科目名	社会の理解Ⅱ	実施時期	1 学年 後期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位 30 時間
担当教員	相山 馨（大学教授、介護福祉士、社会福祉士）		
授業概要・目的	高齢者福祉、障害者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から、基礎的な知識を習得する。		
到達目標	①高齢者福祉制度の基本的な考え方としくみ、介護保険制度の内容、高齢者福祉の現状と課題を理解する。 ②障害者福祉制度の基本的な考え方としくみ、障害者支援法の内容、障害者福祉の現状と課題を理解する。 ③人間の尊厳と自立にかかわる権利擁護や個人情報保護等、介護実践に関連する制度・施策の基本的な考え方としくみを理解する。		
講 義 内 容			
後 期			
1	高齢者保健福祉の動向		
2	高齢者保健福祉に関連する法体系		
3	介護保険制度創設の背景と目的		
4	介護保険制度のしくみの基本的理解		
5	介護保険制度における組織、団体の役割		
6	介護保険制度の動向		
7	障害者保健福祉の動向		
8	障害者保健福祉に関連する法体系		
9	障害者総合支援制度創設の背景および目的		
10	障害福祉サービスの種類と内容、利用手続き		
11	個人の権利を守る制度・施策		
12	保健医療に関する制度・施策		
13	貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策		
14	地域生活を支援する制度・施策		
15	事例を通しての制度・施策		
授業形態	講義		
評価方法	定期試験、レポート、授業態度を総合的に評価		
テキスト	『最新 介護福祉士養成講座 第2巻 社会の理解』／中央法規出版		
参考図書			

授業科目名	生命科学とウエルネス	実施時期	1 学年 前期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位 30 時間
担当教員	前坂 宣明（看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー） 栗谷 好美（体育学学士・高齢者体力づくり支援士） 片岡 淳（日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー） 館川 美貴子（公認スポーツ栄養士）		
授業概要・目的	1. 最新の生命科学・スポーツ医学知識を学び、健康について考察する。 2. 各種スポーツ・トレーニング方法を体験し、健康維持増進する為の運動方法を学ぶ。 3. 自らの健康維持増進を実践できる、介護福祉士を目指す。		
到達目標	1. 健康維持増進する為の医学知識を理解する。 2. 安全で効果的なスポーツ・トレーニング方法を理解する。 3. 自らに応じた健康維持増進方法を考察できる。		
講 義 内 容			
前 期			
1	ビーチボール：オリエンテーション		
2	ビーチボール：ルールの確認とゲーム		
3	卓球：オリエンテーション ルールの確認 ゲーム		
4	卓球：シングルス ゲーム		
5	卓球：シングルス ゲーム ダブルス ルールの確認とゲーム 卓球のまとめ		
6	生命を維持する身体の基本的仕組みについて		
7	生命維持・健康増進するための運動・トレーニング科学について		
8	生命維持するための栄養学と運動・トレーニング効果を高めるための栄養学について		
9	生命維持・健康増進するためのコンディショニング効果と実践について		
10	健康障害について（生活習慣病・メンタルヘルス・腰痛発生のメカニズム）		
11	健康障害・体力と姿勢の関連性について 腰痛予防体操の実践		
12	生命維持・健康増進のためのレジスタンストレーニング理論について		
13	レジスタンストレーニング実践①（自重を利用した方法）		
14	レジスタンストレーニング実践②（ウエイトマシンを利用した方法）		
15	レジスタンストレーニング実践③（各種トレーニング用品を使用した方法）		
授業形態	講義・実技		
評価方法	出席状況、講義を通して評価（ミニレポート、実技テストを含む）、筆記試験		
参考図書	日本スポーツ協会 公認アスレティックトレーナー教本 健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士養成講習会テキスト		

授業科目名	コミュニティケアデザイン	実施時期	2 学年 後期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	1 単位 30 時間
担当教員	奥野 勝太 (介護福祉士、社会福祉士)・中嶋 恭子 (介護福祉士) 前坂 宣明 (日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナー)		
授業概要・目的	地域共生社会が進む中、介護福祉士には、コミュニティケアの役割が重要視されている。実際に、地域で暮らす人々と関わり、地域の課題を把握、課題解決に向けた取り組みを体験的に学習する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における課題を発見することができる。 ・介護福祉士に求められる地域福祉の役割を理解する。 ・地域の問題を P (計画) D (実施) C (評価) A (改善) サイクルを実行できる。 ・地域福祉の実践においてチームマネジメントができる。 		
講 義 内 容			
後 期			
1	コミュニティケアデザインの意義		
2	地域における特性の理解		
3	地域交流および情報収集①		
4	地域交流および情報収集②		
5	地域交流および情報収集③		
6	地域交流および情報収集④		
7	地域の課題分析とプログラムの立案①		
8	地域の課題分析とプログラム立案②		
9	地域の課題分析とプログラム立案③		
10	プログラム立案および事前打ち合わせ		
11	プログラムの実施①		
12	プログラムの実施②		
13	プログラムの評価①		
14	プログラムの評価②		
15	報告会		
授業形態	講義、演習、学外活動		
評価方法	レポート、発表		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 第1巻 人間の理解』/中央法規出版 『最新・介護福祉士養成講座 第4巻 介護の基本Ⅱ』/中央法規出版		
参考図書	住民主体の楽しい「通いの場」づくり「地域づくりによる介護予防」進め方ガイド /日本看護協会出版会		

授業科目名	福祉と英会話	実施時期	2 学年 前期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位 30 時間
担当者名	大場 エリザベス・プレズラー (大学非常勤講師)		
授業の概要・目的	介護の現場をはじめ、様々な場面で実践的な英語を使う機会を提供する。		
到達目標	介護職の日常会話で、聞き取りと会話に自信が持てる。		
講 義 内 容			
前 期			
1	ウォーミングアップ・Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の音声の基本（リズム）と簡単な日常会話 ・英語の音声の基本（イントネーション）と簡単な日常会話 ・音読練習と場面別英会話 ・英文読解 ・英語スピーチ練習 ・英語スピーチ 	
2	Lesson2		
3	Lesson3		
4	English for Careworkers		
5	Lesson4		
6	Lesson9		
7	Lesson11		
8	Class Survey		
9	Lesson7 and English for Careworkers		
10	英語スピーチ練習		
11	Lesson10		
12	英語スピーチ練習		
13	英語スピーチ		
14	Lesson13		
15	Lesson16 and 復習		
授業形態	講義		
評価方法	出席、授業への参加姿勢、スピーチ、期末試験で評価する		
テキスト	Talk a Lot - Starter Book 出版社：EFL Press		
参考図書			